

「サポセン救援隊」で学んだこと①

中学生になって初めての定期テストである前期中間テストが終わりました。結果はどうだったでしょうか。テストに向けて計画を立て、実践し、振り返って改善するという「PDCA サイクル」の取組はうまくできたでしょうか。ついつい友達の結果と比較しがちですが、まず大事なのは、**過去の自分と比較し、成長できるように取り組んでいくこと**です。今回の結果を踏まえて、今後の学習にどのように取り組んでいったらよいかを考えていきましょう。

さて、先日、「サポセン救援隊」の活動を通して、SNS を巡る問題について、何が問題になっているのかを考えました。そして、講演いただいた少年サポートセンターの方から、軽はずみな行動が、さまざまな罪につながってしまうことを学びました。今回と次回の2回にわたって、ここで学んだや伝えたことを確認していきたいと思います。その1つは、集会の最後に先生が話した次の内容です。

「一」歩立ち「止」まることが「正」しいにつながる

中学生の時期は、体と心が成長する中で、気持ちのコントロールが上手くいけなくなり、イライラしたり、その感情を発散させるために、ルールから外れたことをしてしまいたくなったりすることがあります。また、集団だと気持ちが大きくなって、踏み外してしまうときもあるかもしれません。

数年前に放映していたドラマの1シーンを紹介します。

「想像力を働かせて **自分の言葉や行動に責任をもつ** **決断をする前に踏みとどまって** **これが正しいのかを問いた**
だす そんな誰もが分かっているのにできてない 考えることの大切さをみんなには伝えなかった」

正しい判断や行動をするためには、自分のすることに責任をもち、立ち止まって考え、正しいかどうかを自分に問い直すことが必要です。こうした判断や行動ができる人は、周りから信頼される人に成長できます。軽はずみな判断をせず、考えて判断できる人になってください。

先生たちは、皆さんに「本物」になってほしいと考えています。先生たちの考える「本物」の姿は、ふだんの学校生活の中でルールやマナーを守り、思いやりをもって生活するとともに、**先生たちの目の届かないところでも、自分で正しい判断をし、正しい行動が取れる姿**、つまり、いつでも、どこでも、誰に対しても変わらず正しい判断・行動ができる姿です。皆さんは「本物」になれていますか？これからの1か月、自分自身が、「いつでも、どこでも、誰に対しても正しい判断・行動ができる人」になれるよう、みんなで取り組んでいきましょう。

保護者の皆様へ 日頃は、学校・学年の教育活動に関しまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。先日、三者懇談会の二次案内を配付いたしました。日程をご確認ください。7月の8日（火）から10日（木）にかけて懇談会が行われます。よろしくお願いいたします。

今後の主な予定

6月23日（月）平和教育パネル設置（～27金）
24日（火）特別支援学級授業公開・説明会
27日（金）①②学校保健委員会 生徒議会（ST 後）
30日（月）午前5短 朝会：表彰伝達
7月 3日（木）5短 委員会

